

5 日目

平成 31 年 3 月 15 日
午前 10 時 00 分

議長

おはようございます。
ただいまの出席議員数は 7 名であります。よって本会議を再開いたします。

日程に従いまして、議案審議を行います。
議案第 15 号から議案第 21 号まで、平成 31 年度一般会計及び特別会計当初予算につき、一括議題に供します。事務当局の説明を求めます。

企画財政課長

岩淵 健 君
議題第 15 号
平成 31 年度今別町一般会計予算

町民福祉課長

平山 茂樹 君
議題第 16 号
平成 31 年度今別町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算

議題第 17 号
平成 31 年度今別町国民健康保険特別会計（診療施設勘定）予算

議題第 18 号
平成 31 年度今別町後期高齢者医療特別会計予算

議題第 19 号
平成 31 年度今別町介護保険特別会計（保険事業勘定）予算

議題第 20 号
平成 31 年度今別町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）
予算

建設水道課長

相内 一 君
議題第 21 号
平成 31 年度今別地区簡易水道事業特別会計予算

議長 議案第 15 号をご審議願います。
3 番議員。

3 番 小倉 潤二 君
え、118P、14 節の使用料及び賃借料の、校舎プレハブ材料リース料ですね、100 万ちょっと計上しているんですけども、このプレハブのリース料って、これいつまで続くんでしょう。

議長 はい川村課長。

教育課長 川村 一樹 君
え、5 年、5 年リースで、という形になります。

議長 3 番議員。

3 番 小倉 潤二 君
5 年リースというと、またその後も、また借りる可能性あるんですか。

議長 川村課長

教育課長 川村 一樹 君
今のところ、借りる予定であります。

議長 3 番議員。

3 番 小倉 潤二 君
そうするとですね、今 5 年リースで、500 万払う予定になってますよね、またそれをさらに 5 年、またリースすると、またそのお金も払うってことになるんですよ、どうなんでしょう、買った場合どのくらいの値段になるんでしょう。

議長 川村課長。

教育課長 川村 一樹 君
え、今ここに資料持ってきてないんですけど、買った場合とリース

で借りる場合、リースの方が安いということで、リースにしたという経緯があります。

3 番

小倉 潤二 君

このリース料払うよりですね、ま、その前に、小学校の建て替えとかそういうのはまだ考えてないんでしょうね。

議長

川村課長

教育課長

川村 一樹 君

え、先日の一般質問でもありましたけど、現在のところ、こちらでは教育会議、総務会議等で審議し、進めているというところでございます。

議長

はい 3 番議員。

3 番

小倉 潤二 君

はい、ではさっきの、プレハブの値段ですね、後でお調べください。

議長

ほかにありませんか。

はい 2 番議員。

2 番

田中 哲也 君

え、40P です。需用費と役務費の巡回バス燃料代外(ほか)ってあるんですけど、これ燃料代外っていうのはどういう意味なんですか、説明をお願いします。

あ、付け足します、その下にもやっぱり、巡回バス車検手数料外、その、ほかっていうのが多々、バスのところに出てくるんですけど、その意味を説明をお願いします。

総務課長補佐

佐渡 慶剛 君

え、燃料費については、ガソリン代プラス庁舎の建物の灯油代が含まれています。それと、手数料については、車検代のほかに、え、浄化槽の法定点検手数料であるとか、タイヤの交換時期が来ると、そのローテーションするときの手数料が含まれています。

議長	はい2番議員
2番	田中 哲也 君 じゃあ巡回バスの燃料代外ってことは、あの建物の中の運転バスの待合室の灯油代金も入ってるっていいことですか。
議長	佐渡補佐
総務課長補佐	佐渡 慶剛 君 え、待合室には、暖房はありませんので、運転業務してる方たちが詰めてる事務所っていいですか、事務室のです。
議長	2番議員
2番	田中 哲也 君 それだと、分かりやすく、また別に作って出してもらった方が理解しやすいと思うので、お願いしたいなと思います。
議長	はい総務課長
総務課長	嶋中 拓実 君 え、今の巡回バス燃料代外、となってますけど、あっちの方の施設の関係で、今、あの、待合室っていうか、職員の灯油も入ってます。で、こういうふうになってるんですけど、分かりにくいっていうか、今後、また検討していきたいと思いますので、ご了承お願いします。
議長	2番議員
2番	田中 哲也 君 え、これを見ると、巡回バス燃料代のところにあるので、バスの燃料代だと思われがちなので、運転手の待合室の灯油代だったり、暖房費だったら、別の形で載せていただくと、こう、すごい分かりやすいと思うので、お願いいたします。
議長	総務課長

総務課長	嶋中 拓実 君 はい、今後検討していきたいと思います。
議長	3 番議員
3 番	小倉 潤二 君 え、105P の土木費の中の、委託料、その委託料の概要と場所をお知らせください。
議長	平山補佐
建設水道課長補佐	平山 寛哉 君 すべての委託料でしょうか。
3 番	小倉 潤二 君 いえ、この道路新設改良土地鑑定委託料と、その下、3 点です。
議長	平山補佐
建設水道課長補佐	平山 寛哉 君 え、こちらについては、今別、津軽線の今別駅、え、場所は、駅前の 1 号線と 2 号線、県道から入ってきますと、駅を正面に右側の奥のほうですね。え、そちらの方が今現在行き止り路線になってます。で、あの路線幅がとても狭く、緊急時等、何かあった場合、救急車両等、通行にも支障が出ると、え、前々からそういった、地区のほうからのお話がありましたので、その路線そのものを、その、既存の幅員等は今の現状はこれに入ってないんですけど、そこから、県道のほうに抜ける道路を計画したいなということで、そちらの方は、え、町有地ではありませんので、そういった道の鑑定、あとは道路を作るための委託、整備委託等の委託料になっております。
議長	3 番議員
3 番	小倉 潤二 君

え、その場所はですね、前回、八幡町の方で火事があった場合、あの、あったときですね、何か消防車両も通行できないということで、私のほうも、そういう苦情はありました。ぜひ早く進めてもらいたいな、とですね、たいへんいいことだと思いますので、よろしくをお願いします。

議長

平山補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

はい、早急にできるように努めていきたいと思います。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、予算の全般なんですけれども、今回あの、ひじょうに、予算額が増えてます。たいたい当初予算でずっと 25~26 億ぐらいで推移しているものが、今回 32 億ですか、これぐらい増えております。それで、その財源がほとんど町債によるものです。なので、え、これを、主なものは防災無線のデジタル化ということで、これは期限が切られているという説明も受けてましたので、そこは今やるべきものだと思います。なんですけども、え、こうやって今年いきなり 7 億ということで、え、町債が増えればですね、これから返還していくのが大変だと思うんですよ。で、ま、精査はされて今年度の予算になっていると思うんですけど、今購入しなくてもいいものとか、今、工事でもですね、補助金でも、人件費でもそうです、私一般質問した、その、診療所にかかる、え、歳出の圧縮とかですね、そういうのを検討されていると思うんですけど、改めてこの借り入れとかですね、町債で単独の町債が、単独の借り入れがほとんどなので、さらにあの、この一般会計の、え、事業概要を見ても、単独で借り入れするものの中で、町にとって有利な借り入れの過疎債というのがひじょうに少ないです。え、6 事業しかありません。これではなかなかですね、有利な、今別町の財政にとって有利な借り入れでもないように思えます。え、収支をもう少し圧縮することはできないんでしょうか。この質問はですね、予算委員会というのは残念ながら私たちの議会にはないので、本会議の中で質問しなければいけないために、

ここで言わざるを得ないというか、質問することになるんですけど、え、これは誰が答弁するんですかね、財政を持ってる課長さんなんですか、よろしくお願いします。

議長

はい企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

はい、え、当初予算、今年の30億というのは経験ない額でございます。で、今、あの、過疎債、まずそちらの話になりますが、過疎債でなくて、あの、資料A3版の方を今見ていただければ分かるんですが、これが、平成31年度の建設業、工事請負費だけでなく、あの、これを財政のほうで建設業として見なすというもので、使用されているわけなんですけど、右側の記載、注等記載のところ、起債の、何々に使うかということで載せてます、え、あの、財政的にも、起債を借りる場合に関しては、交付税を歳入する起債を重点的に借り入れようということで、私どもやっております。

で、今ひじょうに、その、単独準用で7億円というデジタル化の起債に関しては、緊急防災減災事業債ということで、7割、過疎債の充当率100に対して、元利償還金70%が普通交付で入るというものであります。

で、ひじょうに、今、大きい事業といえば、今別町総合体育館が終了して、また、デジタル化という大きい事業をやらなければならないということに関しては、今までは財政累計画の中で、財政を計画してきたわけなんですけど、だいぶ前から、デジタル化、やらなければならないということは私たちも懸案事項として県とはやり取りしておりました。

で、先ほども議員のほうから話された、もうひとつ大きい懸案事項があります。小学校の件なんです。今現在確かに、体育館のほうでも出たような補正予算ありました。今も100%借り、次小学校の起債を借りる場合どうするかということは、ひじょうに財政的に厳しいということは、私たちも認識しております。で、取りあえず30年度、まだ予算ベースですが、30年度借り入れる起債、それから31年度、今予算組んでる起債を取りあえず借りて、どのくらいの償還になるのかという、だいたいの数値の目安は出しています。で、平成35年から37年がピークになります。

で、(聞き取り不能)取りあえず、これから起債を借りるにあたっては、は保障するというやり方になると思うんですが、やはりあの、10年前の平成18年から19年ということで、徐々に財政が厳しく悪化、というのは、ご承知のとおりだと思います。で、その当時と今の起債の償還を見れば、その当時起債の年末残高が少なかったんですね、少なかったんですが、その当時は起債ってというのは4億を超えてのものだった、で、その当時は緊急もなかった、ましてや職員も足りなかった、ということで、現在と比較した場合は、だいぶ、緊急も乗ってますし、職員もだいぶ若くなってきたということで、きちんとした、これからどういう財政状況になるのかということは、これから、議会終わって、中長期計画を作るに当たって、きちんと精査していくつもりでおりますが、私どもとしては、厳しくなるということは認識しております。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

あの、ま、平成35年からピークになってくるということでしたけれども、2~3年前は平成32年ぐらいから、32,33,34年ぐらいがピークになるということで、え、長期計画をされていたと思うんですけれども、今また、新たに急に出てきたものではなくて、デジタル化というのは何年も前からやらなければいけない、でも先にパンザマストだとかそういうところもやって、水道の借り入れも返さねばまいね、繰上げを返済しないと利息がたいへんだ、とかいう、ぎりぎりの選択をしていきながら、今があると思います。それにしても、え、あまり、こう、大きな借り入れになっていると思います。

確かに、色んな、え、3分の1とかですね、半分補助を受けて、という事業なんでしょうけれども、それでも半分は、半分補助だとしても、半分は一般財源の中から出さなければならないという中で、ですね、やはりこう、予算書を見ても、待ったほうがいいんじゃないか、とか、もう少し改善の余地が見られると、まだ午後もあると思うので、細かいところはそこで行きたいと思うんですけれども、まず、あの、長期計画は、え、されて、今のこの予算が組まれるということですよ。

議長

太田補佐

企画財政課長補佐

太田 和泉 君

はい、え、これまで財政累計画、25年策定で、29年までの長期計画でした。で、県の方からも指導というかですね、県の方から、30年頃、中長期計画の方に移行しなさいということで、今そちらのほう策定中です。各課からも37年度までの見込み等色々書類を集めていて、計画立てた上で、今こういった予算になっていますけれども、先ほど言いました、32年度ピークというのはですね、当時、体育館の関係だったんですけども、そのまま事業が終わって、借り入れした場合、ピークが32年なんですけれども、今回体育館のほうは繰り越しましたので、そのずれがあって、今35年度の償還結果となっています。というのが、色々、こうずれがありますので、そういったのを入れながら中長期計画をやっている、できましたらみなさんのほうにも報告したいと思っています。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

え、私たちは、会議が終わるとまた町民のみなさんに、これはこういうことですよ、これはこういうことですよ、という風に説明しなければならぬので、理解しなければいけないということで、こういう質問をさせてもらうんですけども、中長期計画がある、今策定中で、29年まではできている、というところであったんですけども、え、昨年、今別町の地区座談会というのを毎年やっていて、平成30年度もやりました、そういう中で各町内会を行政のみなさんが、え、町はこういう風になっていくんだよ、こういう風に進んでいくんだよ、というところを説明しながら、毎年時間を割いて、やっているという経緯がありまして、その資料を私今ちょっと持ってきたんですけども、え、細かい事業とかは単年度の事業ですのでいいんですけども、予算の概要は、一般会計の歳入・歳出というのを、将来的なところも載っていて、それが、平成29年までは、え、歳入・歳出が29億ちょっとくらいというところで、平成30年度から34年度まで5年間はだいたい25億くらいで推移していく、というのも町民のみなさんに

配布して説明しています。え、中長期計画がなされていく中でですね、今のそのデジタル無線をやらなければいけないという認識の中で、こういう資料が出ています。それがだめだというわけではないです。今年手をかけるのか、来年手をかけるのか、それはまず、その年度の予算なのではないかと思いませんけれども、安定してこう推移していくと、という説明がある中で、この今回の予算だと思うので、これは町民の人にもですね、ちゃんと今年はこの理由で予算が増えて、将来的に厳しい中だけど、何とか行政が努力してやっていくというところを説明しなければいけないと思いますが、いかがでしょうか。

議長

企画課長

財政企画課長

岩渕 健 君

え、はい、確かに議員おっしゃるように、え、地区座談会の、財政の見込みということで、決算見込みということで取りあえず町内のほうには説明しておりますが、ひじょうにずれていく、というのがあります。え、取りあえず平成 29 年度の当時は財政の計画でやってますが、え、春ということもありまして、ひじょうにこちらも資料的に、作業等時間帯がない、というのが正直なところなんです、当初、ひじょうに、6 億、7 億という数字は私たちも迂闊だったんですが、それを一年でやるというのはひじょうに厳しいかなという風に、計画段階では、それを 2~3 年に分けてやりますよ、というところで、財政の計画のほうは私も立てておりました。で、え、今年も各地区のほうには通知の方は出させていただいたんですが、今年度は各地区回らないという、まとめた、え、前回は交互にやっていたんですが、そういう風にひとつの会場に全地区が集まるというのを、地区座談会ということをやるということで、現在は動いているわけなんです、その中ではきちんと財政状況につきましては、きちんと説明していくつもりではあります。

議長

暫時休憩します。

再開は 13:10 からとします。

【10: 50】

議長

休憩を解いて会議を再開いたします。

【13:10】

総務課長

総務課長

嶋中 拓実 君

すいません、一点だけ。申し訳ない、別冊の 51P、予算書、51P 徴税費 12 役務費のところ、金額入ってないんですけど、徴税費、車検徴収手数料のところ、そこ項目なくなりました。項目がなくなります、51P 徴税費徴収車検手数料のところ、金額入ってないんですけど、項目が全部なくなります。お願いします。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、では午後もよろしくお願いします。え、さきほど午前途中で終わった、地区座談会で説明をしたのと、今と、金額の差が大きいので、また町民の人に丁寧に説明していただきたい、というところで午前中は終わりました。

え、地区座談会の資料の話からいきたいので、もうひとつ、昨年産業建設課が産業観光課と建設水道課に分かれて、その時に説明いただきましたのは、産業課の方でサーモンの事業とか、補助整備の事業で忙しくなるし、課長が二つのことを兼務するのがなかなかたいへんだと、その実績を出すために、分けたほうがいいというところで、え、最初は課を分ける必要がないのではないかと、という話も議論はあったんですけども、そうすれば、一年やってみて、成果を出していただきたいというところで、了承した、と私は思っています。そういう経緯だったという、で、サーモンの方は今年の、去年ですね、大成功を収めて、また規模拡大というところで、ま、民間ですけども、うまく流れていっているというのがありますけど、補助整備事業は、私当初、え、説明を受けたのは、二股地区から今別地区まで 4 つのエリアをやってきて、合計 8 年間で事業が完了するという、最初の説明だったと思います。もう本当の当初です。今、変更はあっていっていると思うんですけど、現状、二股地区の第一期の工事が、前年、いえ今年度終わって、残りとは、予定で行けばもう大川平地区の測量とか工事とかいうのにかかっている、けどもいっていない、当初予定だったと思うんですけど、今どういう風が変わっています

か。

議長

山田課長

産業観光課長

山田 基 君

はい、え、補助整備につきましては、議員が今おっしゃられた8年間というのは、どの辺のところか、私自身にもその辺の、8年間で全部終わるといのは確認取れていませんのであれなんですけども、今現実に、29年11月時点で、県の方で補助事業精査事業スケジュールというのを立てておりました。それによりますと、二股地区は20町歩やって、おおむね10年、最初の事業計画そのものから最後の補完にいたるまで、だいたい10年ということで計画立ててます。続いての大川平地区につきましては計画そのまま進んでいます。全体で70ヘクタールの整備計画で、割り当てがだいたい終わってですね、え、平成30年、今年度と31年度、来年頃までかけて実際の申請に入ります。で、32年に事業採択になって、測量設計が入って、33年から大川平そのものが工事ということで、私が産業観光課として来たときにいただいたスケジュールは、今のところ全然変更なく、その状況で動いています。なので、遅れというか、そういう形のものはありません。

で、その次の今別地区につきましては、TPPの関係とか、様々な要因とか出てきまして、事業の実際が31年度から、今別地区につきましては調査といいますか、事前準備、協議、関係者との打合せ、といったところで、31年から今別地区がスタートということで今動いています。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

ま、当初予定どおりだったということで、それは私の認識不足かもしれません。その、8年と言ったのは、私、二股の説明会に行ったときに確かその時の資料で聞いた、だいたい2年ずつくらいで4エリアで8年だったなという記憶の中でお話をさせてもらったので、というところで、ではスムーズに進んでいるというお話でしたので、ま、多年度に渡ってのこの基盤整備事業というのは、田んぼですね、一次産業のこれからの今別町の産業を担うといいますか、

将来性のある事業なので、何とかうまく成長させてですね、担い手の方たちにもより参加しやすい大規模にして、こう収益が出るような事業ですので続けて言ってもらいたいと思います。

え、いったん終わります。

議長

ほかにありませんか。

4 番議員

4 番

成田 精市 君

別冊の 2 の 7P ですが、開発センター耐震補強事業で、5,300 万ぐらいですけども、どの部分を補強なのか、集会室とか何か、ありましたら教えてください。

議長

山田課長

産業観光課長

山田 基 君

開発センターの起債については、過疎債を充てまして、耐震の、集会室の屋根部分、天井部分の耐震補強工事ということで実施予定になっております。

すいません、もうひとつ、アスベストもあります。そのアスベストの除去も含めてのいっしょの工事になります。若干微量ですけど、アスベストが見つかりましたので、その部分もです。

議長

4 番議員

4 番

成田 精市 君

はい、え、今こうやって 5,300 万使って、直すんですけど、どうですかね、その時に、別に悪いところが出るという可能性があるんじゃないでしょうか。

議長

山田課長

産業観光課長

山田 基 君

え、あの、今回の耐震補強工事につきましては、その前の段階で、今現在耐震に引っかかったというか、悪い、指摘された部分が、集会室の部分ですので、それ以外の、え、例えば社会福祉協

議会の方で入っている事務室とか、その後ろの加工室、それらの部分も全部、上の二階の部分も、全部調査した上で、集会室だけが補強必要だと、そういうことになってましたので、急に大きなところも、ま、大きな事故とかあれば別ですけども、大規模災害があった時には別なところもするかもしれませんが、現段階のところでは、大きな補修は、今終われば必要ないかと思います。

4 番

成田 精市 君

はい、分かりました。

議長

ほかにありませんか。

2 番議員

2 番

田中 哲也 君

76P です、清掃費の中の、委託料の中の海岸の清掃委託料、590 万計上されているんですが、これ、説明お願いします。

議長

平山課長

町民福祉課長

平山 茂樹 君

え、海岸清掃委託料につきましては、国の事業で、え、県からの、県を通しての補助事業になります。で、あの、これにつきましてはですね、浜名から奥平部までの海岸線の海岸漂着物、ゴミを組合の方に委託しまして、実施するというものです。で、あの、590 万ですけども、実際入ってくるものは 580 万ほどの補助金で入ってくる事業となっております。

議長

2 番議員

1 番

田中 哲也 君

はい、分かりました。あの、高野崎とかですね、国定公園になって、けっこうお客さんが来てます。僕なんかもたまに行くんですけど、上から覗くとけっこう、毎年毎年の清掃料上がってますけど、かなりのゴミが漂着してて、観光客にあまりいい思いができないんじゃないかなと思うので、これだけ予算があれば、すっかりきれいにできるんじゃないかなと思いますの

で、その辺、指導しながらお願いしたいと思うんですけど、どうですか。

議長

平山課長

町民福祉課長

平山 茂樹 君

え、議員のおっしゃるとおり、ただ、業者さんの方にですね、委託して実施する関係上ですね、いつも、あの、若干遅い時期になるんですよ。え、夏場の本当の観光客が見える時期までに、本来であれば実施できればいいんですけども、それ過ぎてからの、いつも毎年実施になっておりますので、その辺はですね、今年実施する際にですね、ちょっと打合せすることになってますので、ご了承願います。

議長

2 番議員

2 番

田中 哲也 君

はい、今年雪融けが早いので、早く段階で協議して、早く進めていければいいのかなと思います。え、これに関しては終わります。

続けて言ってもいいですか。え、95P ですね、商工費の委託料で、一般質問でもしたんですけども、あの、嘱託職員募集についてで質問したんですけども、草刈りに関して。この委託の公園観光施設及び町道草刈業務委託料、これに充当するという事で、考えた方がよろしいですか。

議長

平山課長

町民福祉課長

平山 茂樹 君

はい、その予算で実施したいと思ってました。

2 番

田中 哲也 君

はい、分かりました。すいません、続けていきます。104P です、18 節、備品購入費ですね、タイヤショベル購入費 (11t 級)、2,500 万ってあるんですけど、これとその下、タイヤショベル購入費 (0.5 m³)、これ説明してもらってもいいですか。

議長

平山課長補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

え、こちらの備品購入につきましては、今現在、二股の奥津軽いまべつ駅が開業してから、ロータリー部分、アスクルの駐車場等を含めて、リースで対応しております。で、今年度から、体育館の駐車場含む、え、砂利敷きですが、多目的施設の駐車場も、今年度から除雪、直営でやっている除雪の中に入れております。その中で、今現在、リースすべて、向こうのほうにある重機、貸付、リースとなっております。今年度の予算にもありますけど、リースが今、10t級のショベルが一台と、()ショベルが二台、一台はアスクルの方にございます。もう一台は役場の横に置いて、基本的には道路事業で購入するというのが、一応、駐車場そのものも道路事業で整備しまして、今年度、この予算にもございます。

来年度は多目的施設の砂利敷きの部分を舗装、あとは向かい側の、あ、隣ですね、の方も含めて、駐車場整備ということで、入っていきたいと考えている中で、え、今後もリースだいたい、150万～200万程度かかります。それを毎日続けていく計算をすると、今ここで、え、3,190万、これはまだ何といたしますか、設計額でもございませませんが、見積を取った段階の金額となります。これに、例えば社会 の補助金をかけますと、2分の3が補助金で入ってくることとなります、失礼しました、3分の2ですね、で、3分の1が一般財源ということになりますと、約1,100万円、1,100万円を毎年分けると、7～8年くらいで到達してしまうと、そうするとやはり、買った方がある意味融通もきくといたしますか、そういった意味で長いところを考えると、購入が必要ではないかと思えます。

で、11t級というのは、え、現状あるショベル、1.4クラス程度のショベルは既存であります。で、そちらと、今購入した場合、どちらのショベルを向こうに配置するか、こちらに配置するか、そこまでは決定しておりませんが、え、当初、平成18年に、今のショベル購入した際に、排雪作業、町道含む、それを直営でやるということで、進めてまいりました。その当時までは、町道以外に、町の施設、駐車場とかですね、それを

含めて、そういった予算の減額ということで、直営の人夫賃なり、そういったものに充ててきました。その中で、今 11t 級っていうのは、向こう、駐車場は、けっこう直営でやる除雪の場所で、多いので、道路であればある程度狭い小路等があるんですが、駐車場を含めて考えたときに、ちょっと小さい、で、11t 級であれば、ある程度、ま、幅も大きさもありますので、効率よくできるのかな、と。で、タイヤショベル 0.5 m³に関しては、基本的には購入した際には、一応町の歩道、町の通学路、そういったものを主に、除雪したいと考えておりますので、一応、まだ未定ですが、その小型ショベルについては役場の方に置きながら、今別小学校通学路や歩道、バイパスに抜ける歩道もありますので、そういった部分に活用していきたいなと思って計上しました。

議長
2 番

2 番議員

田中 哲也 君

はい、え、まずその 0.5 m³の方はですね、ま、小さいのであらゆる使い方があると思うんですけど、この 11t 級に関しては、かなり大きい、200 クラスになってくるのかな、と。今現在、大きいのも 100 クラスだと思うんですけど、あれの稼働を見ていると、町内排雪、トラックに積んだり、雪投げしているのを見ると、ちょうど良いサイズなのかな、と思っています。これを 200 にして例えば、今使ってるのが古くなって 200 に代替した時に、例えば、ま、大川平の下町なんか見ると、200 クラスだと使いこなせなくなってくるのかなと、ま、今駐車場とかっていうのは、大きいクラスの方が楽だと思うんですけど、今現状使っているのが、またこれから年数経っていった時に、壊れてきた時にそれを代替して使おうと思った時に、不自由を感じてくるのではないかなという風に考えますけど、その辺はどう考えますか。

議長

平山補佐

建設水道課課長補佐

平山 寛哉 君

え、今現状使用している重機よりは大きいですが、例えば 13t 級とか、もっと大きいのがありますが、一応町道の除雪に

関しては、今現在も委託で実施しております。で、例えば将来的に代替をするとしても、例えばお昼、日中に道路が、雪が融けて悪くなったとか、それ以外は基本的には直営では除雪しません。で、一応排雪を主に考えていますので、排雪は雪を溜めているところから雪をすくってショベル、あの、ダンプに積み込むということであれば、その辺は大丈夫かなと考えております。

議長

2 番議員

2 番

田中 哲也 君

はい、え、たまたまうちの横が排雪場、雪だめのようになっていて、あるんですけど、その排雪なんかを見ていると、200、大きいサイズになってくると、なかなか厳しい状況になってくるのかな、と、例えば今別方向に向かってきて、ちょうど鍋田に行こうと今別に曲がってくるところの、あの辺は道路が広くて、ま、あそこも雪投げになっていますけど、その辺の道路の幅があれば、使いやすいのかなと思うんですけど、なかなか、その 11t 級、大きいクラスになってくると、町内の排雪に入った時に、不便を感じるのかなと私は思ったので、え、そういったところです。

ま、その 3 分の 2 の補助なんか入ってくると、そういう部分で、この税額を払う必要はないと分かったので、え、分かりました。ま、この 11t 級は色々確認しながら、まだその段階であれば、確認しながら、これから先いいような使い分けができるようなものを、できていければなど、その辺の件とかもよろしくお願いいたします。

議長

平山補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

はい、分かりました。

議長

ほかにありませんか。

4 番議員

4 番	成田 精市 君 別冊の 130P、体育館で備品購入する、トレッドミル購入、あとチェスとブレス購入、日本ファイリングラックコードレスバイク購入、とこうありますけど、これはどこに置くのでしょうか。
議長	川村課長
教育課長	川村 一樹 君 え、体育館にトレーニング室ございますので、そちらの方に置く予定にしております。ぜひご活用ください。
議長	4 番議員
4 番	成田 精市 君 え、これはどうなんですかね、体育館にはこういう用具を使う時、無料でやれるのでしょうか。
議長	川村課長
教育課長	川村 一樹 君 え、器具の使用については無料で使用できることとなっております。ただ、トレーニング室を使う場合は、若干の料金をいただくことにしておりました。
議員	4 番議員
4 番	成田 精市 君 あの、使いたければ、体育館の方でもすぐ使えるように、私も高校の方でも、やはりトレーニング機器とかあったんですけど、置いている場所が、潮路会館というところで、普段は鍵をかけていると、ちょっと体を鍛えたいという方がいても、なかなかすんなりとは入れない、というような経過がありますので、今せっかくこういう器具を購入したのであれば、普段体を鍛えたいという若者のために、すんなり簡単に使えるようにしてもらえれば助かると思います。

議長	教育課長
教育課長	川村 一樹 君 たくさんの方々にご利用いただけるようにしたいと思いますので、よろしく申し上げます。
議長	4 番議員
4 番	成田 精市 君 はい、何とかよろしく申し上げます。
議長	7 番議員
7 番	福祉 和比古 君 え、110P ですね、消防費のどこなんですけど、直接関連はないんですけど、今別小学校裏のバイパス、バイパスから今別小学校に入っていく道路があります。あの界限廉価な住宅が 3 軒ですか、そして、その住宅の裏には鉄工所が 1 戸と、そんきあります。あの界限で、もし火災が発生したとき、水利はどういう風になるのか、もし調べているものがあつたら答弁を求めます。
議長	総務課長
総務課長	嶋中 拓実 君 え、今の質問ですけど、道路、バイパスを挟んで食堂がありますよね、ジムニーとか、その下に方に若干、水路あります。大きな水路あります。あと上のほうだと駐車場に小さい水路だるんですけど、あと、14 号棟のところの団地の方にも、水路、若干あります。
7 番	福祉 和比古 君 そうすると、火災発生したとしても、何とか水利は間に合うということでもいいんですね。
総務課長	嶋中 拓実 君 え、私が答弁するのは、おそらく、あの夏とか、色んなところ

に水を使用するときとかは、間に合わないかも分かりませんが、私的には、現在、雪解けとかになれば水が多くなるんですけど、すれはあの、今後確認して再度計画します。なるべく早く。

議長

7 番議員

7 番

福祉 和比古 君

あの、もし予算的なものに関係ありますか、ありましたら、消火栓を、そのあたりに1本、取り付けできたらな、と思っておりますけども、検討してみてください。今すぐ結論を、とは言っていないです。

議長

総務課長

総務課長

嶋中 拓実 君

はい、検討します。では消火栓の方も確認、あとで確認します。団地あたりのところと、もう一度確認します。その近辺にあるかないか、ちょっと今のところ分かりかねますので。

7 番

福祉 和比古 君

はい、よろしく申し上げます。

議長

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

あの、先ほどの、田中議員が質問しました、海のゴミですね、今あの、高野崎にですね、こう降りてみると、去年集めたゴミがまだそのままなんですよね、あれ将来的にはどうなるんでしょう。

議長

平山課長

町民福祉課長

平山 茂樹 君

え、ま、年明けましたので、昨年度の事業で実施したのを確認したところ、ちょっと、いつも船で、袈月の方に運んでもものですけども、え、東部のし場の方に確認しましたら、時化で船出せなかったということで、え、春に回収するか、31年度の事業の実

施と合わせて、実施するか、そのところはまだ、流動的になっております。ただ散らかしてはけませんので、固めて置いていきますので、その辺は、あの、その事業に合わせてやるか検討することになります。

議長

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

え、そのことは、よろしく申し上げます。で、あの、確か前にも、一般質問でもしたと思うんですけども、高野崎からちょっと下った砂が森寄りですね、あそこ、まだゴミがすごいんですよ、あれどうにかできないものですか。ま、海ともつかないし、陸ともつかないので、あと、鑄釜崎の、何て言うの、大泊の墓所のところですが、あそこも、すごいゴミなんですよ。

議長

平山課長

町民福祉課長

平山 茂樹 君

え、だいたい場所は分かります。ただあの、みなさん、今組合のほうにお願いしてまして、組合の方もお年を召してきております。で、あまり、危険というか、歩きづらい場所は、作業お願いしても、なかなか、実施されないのが実情です。ただ、わりと、あの、目立つところは、ゴミを回収していただいていると思っておりますので、その辺は今後検討課題とさせていただきます。

議長

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

あともう一つですね、何でそこにゴミを捨てるのかと考えてみたんですね、そしたらあそこちょうどガードレールが低いんですよ、ちょうど、こう腰の下で終わってるんですよ。ガードレールの高さが。あれ、高くしたら多分ゴミを投げる人がいなくなると思うんですよ。

議長

建設課長

建設水道課長

相内 一 君

はい、今、議員が言いました、一般質問でも出ました。で、私ども地域整備部、国道 280 号ですよね、整備部の方にも、写真の提示等、そういう風なことで統計はしていると、で、また、そこ地面もちょっと広がっているんで、車もとめやすい風な感じにもなっていると、その辺のところ、前の道路から改良、保存して、ガードレールが細くなっているような状態ですので、その辺の事情を踏まえた中では、一般質問になる前にも、整備部の方にも要望来てましたし、え、そのほかにもですね、県 ありましたので、その県 の方にも要望して説明が出ましたので、また引き続きその辺を県の方に要望していきたいな、とは思っています。

議長

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

ぜひ、よろしくお願いします。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

あの、131P のですね、山村広場の野球場の整備工事 80 万 出ています、これちょっと説明願います。

議長

川村課長

教育課長

川村 一樹 君

え、議員のみなさまご存知のように、あの、土が風でだいぶ飛ばされるんですよ、野球やっても一時中断するくらいの、見えなくなるくらいの。今だいぶ土が削られましたので、そこに土を入れる、一応やる予定となっています。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

え、そこで、この山村広場、今どの程度活用されていますか。

議長	川村課長
教育課長	川村 一樹 君 今別中学校野球部が使っております。
議長	はい、7番議員
7番	福士 和比古 君 野球部が使っていると、その他には。
議長	川村課長
教育課長	川村 一樹 君 え、あのスポーツ少年団、小学校ですけども、野球の大会があれば年にこう、持ち回りですので、4年に一回くらい回ってきます。その他、野球部が練習試合等で活用しております。
議長	7番議員
7番	福士 和比古 君 え、今なんでそういうことが出てきているかという、ひじょうに小子化も続いていますし、我々、卒業式見ても、本当に人数少ない。野球1チームできるかどうかという状態でも、この山村広場、維持していく必要があるのかなって、私考えるんですが。それとあと一つには、あの場所、ひじょうに風が強い場所で、前にも土1回、確か入れたはずで、で、また同じ状態になっているということを加味してみれば、将来、これ検討する必要あるんじゃないかなと思うんですけど、その辺いかがですか。
議長	川村課長
教育課長	川村 一樹 君 ご存知のように、何回も土入れた経緯があります。前にたくさん子どもたちがいた時には、PTA、保護者のみなさんが、トラクターを持ってきて、流れる土を戻したという経緯もありま

すけども、今、なかなか子どもの数も減って、保護者の力も数も減っておりますので、それができない状態でありますけど、ま、子どもがいる以上はやっぱり、土を入れて、整備していかなければならないものと思っております。ま、子どもも議員のおっしゃるとおり、少なくなっておりますので、土を年に何回も入れるような状況になれば、考えていく必要もあるのかなと思っております。

7 番

福士 和比古 君

はい。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、遡りまして、歳入から行きます。11P です。固定資産税の償却資産が、前年に比べて、2,400 万くらい減額になっていきます。これは主に何の減額ですか。

議長

税務会計課長補佐

税務会計課長補佐

武知 活憲 君

あの、具体的な、例えば償却資産、ここの箇所、というのはないんですけども、取りあえず近年の統計を見ながら、平均的に少なくなっているものですから、この予算の振り方としては、変動率だいたい前年の 98%ぐらいと見て、それに徴収率をかけております。で、この金額を出しています。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

最近、新幹線の駅もできて 3 年経ちますし、来年になれば、え、次年度でした、次年度になれば、北海道電力さんの変換所も償却資産になって出てくると思うんですけども、それを加味せず、ですか。

議長

税務会計課長補佐

税務会計課長補佐

武知 活憲 君

え、償却資産については、こちらで把握できかねるものがあるものですから、北電の具体的な設備がどのような設備か、まず分からないというのが一つと、鉄道で言うと今まで償却資産としてかかっている、その、償却資産が何年経過したか、具体的に示されないものですから、最終的には国に した段階で初めて、補正予算の中で する形しかないと思っております。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、その予定だということで、はい。で、上の町税の、町民税も、前年と比較して 500 万減額ですね、減収か、減収になっています。え、今言った償却資産の下の交付金も固有林野交付金というのが 300 万減額になってます。で、ちょっと進んで、16P、12 款 1 項 3 目、商工使用料の中の、海峡の家ほろづき使用料が、前年に比べて約 300 万増収を見込んでいるんですけど、これは、昨年、前年度、このぐらいの見込みだということだったんですけど、工事関係者の人が泊まっているのが多かったように聞いてますけども、もう工事もだいぶ、新幹線の残工事も終わって、電力の工事も終わってきていると思うんですけど、それでも前年並に見込めるんですか。

議長

建設課長

建設水道課長

相内 一 君

え、議員ご指摘のとおり、工事そのものは、新幹線の関係の方は、業者さんの方は落ち着きを見せています。ただ、それ以外の、電気の関係と、その他の、え、二次派生工事といいますか、追加の工事等が出ていて、北海道のほうからかなり来ている業者さんがまだいるので、この分については今年は見れるのかな、と。ただこれを、本当に行けるのかどうかは、私も、今年は何とかこれぐらい見れるのかな、ということで、予算計上させていただきました。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

分かりました。

え、次は 19P に進みます。1 項 2 目、民生費の中の、障害福祉費負担金の、障害児施設給付費というのが、新規に 154 万形状になってますが、この内容の説明願います。

議長

山崎副参事

町民福祉課長補佐

山崎 真直 君

え、今年度、この対象者の方がひとり転入してこられまして、施設入所いたしましたので、上げさせていただきました。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、私議員になった最初のころなんですけど、重度障害の、ま、山崎さん覚えていると思うんですけど、重度障害の方の、何と申しますか、町の、例えばおむつ代とかそういうお金の補助金が青森市と比べてかなり少ない、ということをお話したときに、近隣町村、外ヶ浜とか蓬田とかも、青森市と比べればあまり手厚くないですよ、でも検討してみます、という話を、もうだいぶ 9 年ぐらい前なのであれですけど、したと思うんです。え、その方はもうお亡くなりになりましたけども、やっぱりこういう、障害持たれたとか、何と申しますか手を差し伸べるといって、行政の方でやってあげなければ、なかなか、本人もまわりの人もたいへんだというところの中の事業なわけですよ、社会福祉的な、そういうところはずごく、これからもです、ま、人口はそんなに、2,600 人とかの町なので、そういうきめ細やかな対応をしてくればいいなと思って、予算書を見たら、この障害児施設給付 1 人、新しく載っていたので、聞いてみたんです。え、新しく転入された方の対応ということで、はい、分かりました。

じゃ、次行きます。23P です。県支出の中の、青森県未来を

変える元気事業補助金が前年 500 万だったのが、減額になって、先ほど説明の中でも、減額しました、というので理由が示されませんでしたので、その理由を説明願います。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、こちらの方ですけども、これまでも、奥津軽いまべつ駅開業の PR 等に充ててきたことなんですけども、今年度に関しては、その開業に対する補助でなく、今回は、3 周年記念事業の方に充てるということで、今回入れましたので、これまでの開業 PR 等の分が減っております。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、年々イベントが少なくなっている感じがしますがけれども、ちゃんとした、何回やった、とかは分からないんですけども、開業当時から比べて、少しずつ回数とか少なくなって、東奥日報見れば、何ですか、「青東地区」みたいなページがあって、よく、イベントやりましたよ、っていうのに今別も出ているじゃないですか、そういうのがなかなか見かけなくなったような気がするんですけど、今年度も、来年度でした、来年度も何回ぐらい、イベントやる予定ですか。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、まず、東奥日報の掲載の件なんですけども、私どもも、投げこみとかしています。ただ、何かマスコミさんは、継続でやっているような事業は、なかなかこう取り上げてくれない、ということもあまして、なかなか、ま、最初やったのは、頻繁に東奥日報さんにも掲載になったわけなんですけども、担当課としては、きちんと投げこみはしているんですけど、なかなかマスコミは取り上げてくれないということです。

え、来年度も駅のもてなしイベントということで、計画はし

ております。だんだん元気事業も方がですね、あまり、継続事業に補助金をつけてくれないということもありまして、ま、これからも毎年実施していかなければならないという風に思っているわけなんです、今後、だんだん一般財源で出さざるを得ないのではないかなという風には思っております。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

はい、あのイベントなどがすごく載ると、こうにぎやかな感じがして、最近だとスポーツ賞のやつが載ったりして、平内、バーンと 100 人くらいいるんですけども、今別なんか 7~8 人ぐらいで、すごくさびしいなという思いをしましたけれども、ま、継続して、紙面に載らなくても継続してやるということで了解しました。

え、歳入なので、歳入ずらっとやって生きたいと思うんですけども、24P です。え、農林水産事業の補助金で、農業次世代人材投資事業補助金が、前年 450 万から今年度また 300 万減の 150 万になっています。これも理由を説明願います。

議長

山田課長

産業観光課長

山田 基 君

はい、え、これにつきましては、昨年の補助が 3 人分、3 人分といいましても、1 人はこの当初の計画を作る段階で、昨年の当初の計画を作る段階で、青森のほうから、今別の農業やってみたいという希望で手を上げて来た方がいらっしゃって、その人を入れて、当初の 2 人とその人を入れて 3 人の計画で進めてきました。ただ、現実には、手を上げてはいただいたものの、こちらのほうで農業の現状とか、施設も含めて案内しながら進めたんですけども、最終的にその方は農業はやらない、といった形で帰ってしまわれたという方が 1 人、それから、これまで実際の人材投資ということで、地元後継者になってほしいということで、若者が 1 人、もう 1 人いたんですけども、残念ながらその方は途中なんですけれども、さまざまな事情がありまして、農業のほう離農、といった形で 1 人は別に行きました。

最終的に今現在は、1人、ということで計画させていただきます。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

あの、今の説明だと、今年は募集しないということですか。去年から継続している人だけには補助金つくけど、新しくやりたいという人に対するの予算は持たない、ということですか。

議長

中嶋副参事

産業観光課副参事

中嶋 正文 君

え、この事業なんですけれども、最初研修してからもらえる事業になっているわけなんです。だから、営農大学校に研修しに行くとか、農業法人のほうに一年間研修してからこの事業に入っていくというやり方になっちゃったので、今回の場合は0なので。必ずどこかに行ってから帰ってこなければ、これをももらえないということで、今回は1人分ということになりました。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

え、あの、なっちゃったということで。そういう要件があったという、要項、その枠に入れる人が今年はないということだと思います、で、補正予算のときもお話して、なるだけ、せっかく補助事業があるんだから、観光に繋げて、とかいう話もあったと思うので、え、一次産業が本当に大事だし、来てみてだめっていうのは本人の感覚なのではないので、行政というか町としては、窓口は広く、なるだけこう、手をかけてもらって、判断してもらおうというのが大事だと思うので、継続できるようにですね、はい。その、何というんですか、でもあまり良くないですね、大学、農業のどこかに行って経験をしてからっていうのを付けると、なかなか使いにくい、ますます使いにくくなると思うので、私はあまりこういうのは良くない気

	がします。でも内容は分かりました、はい、歳入は以上です。
議長	ほかにありませんか。 2 番議員。
2 番	田中 哲也 君 110P です。え、消防火の中に、備品購入費があります。ポンプ車導入ということなんですけど、これは入れ替えでいいんですよね。
議長	総務課長補佐
総務課長補佐	佐渡 慶剛 君 はい、今入っているポンプ車ですけれども、約 25 年経過しております、それを新しく替えるということです。
議長	2 番議員
2 番	田中 哲也 君 はい、え、入れ替えるということで、古いポンプ車はそういう形になりますか。
総務課長補佐	佐渡 慶剛 君 え、今までの例によって、今のところ廃棄処分する予定です。
議長	2 番議員
2 番	田中 哲也 君 え、廃車っていう形になるということなんですけど、これ、例えばどこかに売却するとか、そういう形は考えていないのでしょうか。
議長	総務課長
総務課長	嶋中 拓実 君 え、前回もそういうふうな質問あったと思うんですけれども、

特殊車両でありまして、一般にはちょっと売買とか考えられませんが、廃棄のほうで進めております。

議長

2 番議員

2 番

田中 哲也 君

はい、あの、特殊車両はですね、各市町村色々お持ちになっていてですね、廃車になる時に、色々な形を取っていると思います。よくテレビなどで見受けられるんですけど、例えば消防車だったら、色々な改装をしたり、この部分はまだ使えるとか、色んな形で財産として取っておく形が、他町村では見受けられます。今別町でもそういう形を取っていいのかなと思うんですけども、その辺の考えはどうですか。

議長

総務課長

総務課長

嶋中 拓実 君

え、そこのところは、車の頻度や状態を見て考えて行きたいと思います。また、10 何年前かだと思うんですけど、前に小型ドリルポンプ自動車、町の方で廃棄しなくて、ナンバーを変えて町の方で、交流センターの方で使った経緯もあるんですけど、それもやはり、若干直したりはしたんですけど、すぐ使えなくなった経緯もありましたので、今後またそこは考えていきたいと思います。

議長

2 番議員

2 番

田中 哲也 君

あの、すぐ廃車とかいう考えでなく、なるべくなら色々な考え方を皆で出し合っただけですね、使っていけるような形を取ればいいなと思いますので、その辺の検討をよろしく願いいたします。

議長

総務課長

総務課長

嶋中 拓実 君

	はい、そこは、ゆっくり考えて検討していきたいと思います。	
議長	ほかにありませんか。	
	6 番議員	
6 番	福士 直治 君 え、39P です。工事請負費の、開智小学校の解体工事が今回計上されております。このお金の出どころというか財源は、修繕等基金の取崩しで工事が行われると思うんですけども、開智小学校は場所的に山の奥で、え、私その選定が分からないので、壊すのであれば道路から見えている方、大川平、じゃないや大泊小学校とか二股とか他に優先順位から行くと、もっと先の部分があるんじゃないかなと思うんですけども、これは何で先に開智小学校なんですか。	
議長	暫時休憩します。10 分から再開します。	【14:00】
議長	会議を再開します。	【14:10】
	はい、佐渡補佐	
総務課長補佐	佐渡 慶剛 君 すいません、失礼しました。町の財産管理をする段階で計画したものがありまして、31 年度、予定どおり開智小学校を予定しております。ちなみに 32 年度は大泊小学校を予定しております。なぜ開智小学校が先かというのと、逆に、道路から見えない、他の人から見えない状況なので、色々危ないことがあってもだめだということで、先に開智小学校を取り壊す計画にしています。	
議長	6 番議員	
6 番	福士 直治 君 え、計画どおりだということで、財産管理の。議員にもじゃあ今まで説明したことあったんですね。私たち、というか私、多分忘れていると思うんですけども、あったんですか。	

議長	企画財政課長補佐
企画財政課長補佐	大田 和泉 君 え、前回、前の定例会の時、 の関係でということで、同じところを改定するというので、説明はしておりました。この計画、今の計画のことは説明していません。
議長	6 番議員
6 番	福士 直治 君 分かりました。じゃあ基金もそのために積んでいるのを適正にやっているということだと思いますので。 え、41P です。賃金、事務補助員賃金 223 万 9 千円が計上になっているんですけども、これは、去年この項目がなかったようですけども、今年新たに出来たっていうのは、どういういきさつですか。
議長	企画課長
企画財政課長	岩渕 健 君 え、予算の説明の時にお話したとおり、予算編成の時期がだいたい 11 月から 12 月の間ということで、取りあえず ですが、その時点の職員の配置の中で給与を計上している、時期もひっくるめて賃金を計上しております。今後 6 月にですね、人事異動があつて、きちんと嘱託職員や臨時事務員が配置になった時点でまた賃金が変わるということでもありますので、これはあくまでも昨年度、ま、今年度配置の人員の中での計上ということになっております。
議長	6 番議員
6 番	福士 直治 君 ええ、そうですね、前にも説明いただきましたね、その時期がずれているということで、はい、分かりました。 え、42P です。19 節負担金の中で、むつ湾広域連携協議会負担金というのがあるんですけども、このむつ湾広域連携協議会

というのは、たまにテレビに出て、あの、どこでしたっけ、台湾、シンガポールに行きましたよとか、あとは特産品を生かした、とかいうのは聞くんですけども、実質、何をやる協議会なんですか。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、昨年の 12 月 21 日に付設したわけなんですけど、え、青森市長、むつ市長、それから外ヶ浜町長がいちばん先頭になって走ったわけなんですけど、この協議会化にあたっては、むつ湾の衛星自治体ということで、豊かな自然を守るとともにですね、むつ湾の資源を生かした産業及び観光の竣行に連携した取組み、というのが目的となっております。で、オブザーバーとしては国とか県とかも入っております、え、むつ湾沿岸の 8 市町村、青森市、むつ市、平内町、東郡全部、それから野辺地町、横浜町、それから商工団体あるいは観光団体などで組織するという事で発足、設立したものです。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

あの、テレビ見て思ったんですけど、シンガポールとかどこかに行ったというのを見たんですけど、むつ湾も、こう例えればホタテの残渣の問題とか、広域的な問題もあるし、そして今の観光とか産業とかという広く、広い意味での目的というのは、設立の時作るものなんですけど、今は 11 月に出来たということなので、実際は次年度くらいから色々動いてくると思うんですけど、その中で今別町も入っていますよね、今別町はこのむつ湾広域連携協議会で協議したいというのが何かありますか。

議長

町長

町長

中嶋 久彰 君

議員のおっしゃっているそのむつ湾広域連携ですけども、ちよっと勘違いなさっているみたいで、シンガポールとかっていう

のはまた別の問題でありまして、先ほど企画課長からお話がありましたように、むつ湾沿岸の地域が連携して、例えばむつ湾の資源を生かそうとか、海岸をきれいにしようとか、産業振興をどうしようとか、そういう話合いをする協議が2回ありまして、今年に入ってから2回目で設立、委員会というのが出来て、これから協議を始めていくという風になっていきます。で、今別がどうのこうのと、私はあまりこれには乗り気ではなくて、要するに、むつ湾という主体から町が外れているというのがあります。実際に蓬田もそれにあまり乗り気ではないんですけども、外ヶ浜と、青森市とむつ市が若い人の首長さんでお声をかけて先行した、みたいなのが走っているので、それに商工団体、それから観光団体、先日の設立協議会では、漁協も入れてはどうかという話まで出て、もう広く広く広がっていくので、それでは収拾がつかないというお話もあって、まだはっきりした段階まで進んでいないというのが現状です。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

はい、私の勘違いだったんですね。確か町長さんはいらっしゃいませんでしたけど、今言った青森市長さんだの他に、蓬田村長さんと野辺地町長さんと、何かテレビ出てましたよね、知事さんと。

町長

広く募集したみたいです、行くのは。

6 番議員

あ、そうなんですか。

ちょっと期待していたのがひとつと、町長が言うように、今別入ってない、むつ湾といえばむつ湾かもしれないんですけど、はじっこですよ、ほとんど、環境的に違いますからね。ま、これからだということで、分かりました。

え、45P です。集会施設、いちばん上の補助金の集会施設と整備事業補助金というのに、新規で補助金がつけられていまして、100万円計上になっているんですけども、この前に、え、すいません、戻って42Pの、さっきむつ湾広域って言ったところの下の補助金にコミュニティ助成事業補助金というのでも300万あ

るんですけれども、これは各地域に使ってもらうように出してる補助金なのかなと思うんですけれども、この内容を教えてもらえますか。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、まずいちばん最初の、45Pのです。集会施設等整備事業っていうのに関しては、これは新規ではなくて、3年目になるかと思ってましたが。これは、その地区で管理、指定管理になっている、各地区で自分たちが建設したっていうところの集会施設の修繕等にお金がかかるということで、町の方で補助金を出すということで、確か3年と思ってました。ただ、昨年当初予算のほうには計上にならなくて、補正予算で対応したかと思ってました。それからもうひとつ、42Pのコミュニティ助成事業に関してはですね、コミュニティ活動するにあたっての備品等の対象になるっていうことでの、補助金で計上しております。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

では、コミュニティ助成事業はですね、今年300万の内訳を教えてください。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、予算の説明でもお話ししましたが、取りあえずまだ県の方から31年度の確定が来ておりません。ただ予定としては、裳月地区と西田地区ということで二地区、予算計上しておりました。

6番

裳月と西田

企画財政課長

で、ございます。

議長

6番議員

6 番

福士 直治 君

去年、関口って書いていたんで、関口地区でやられたと思うんですが、今年は褒月と西田の二地区です、と。分かりました。

え、48P の負担金補助金の部分で、新幹線利用促進助成金は、先ほど説明で町民対象にして補助するということだったんですが、これはなるだけ利用してもらうために、交通費を補助するとかそういうイメージなんでしょうか。

議長

太田補佐

企画財政課長補佐

太田 和泉 君

え、平成 28 年度に、一度やりました、開業記念ということで、町民ひとり 2,000 円助成ということでやりましたけども、今回 3 周年ということもありましたので、3 周年記念事業ということで、また同じように町民ひとり当たり 2,000 円、子ども半分の 1,000 円を考えております。

6 番

福士 直治 君

分かりました。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

あの、69P のですね、委託料のところ、子育て支援拠点事業、委託が、その下ずっとあります。これをもう少し、丁寧に言ってください。それからもうひとつ、同じページの 20 節の扶助費、扶助のひとり親家庭等医療費給付金、これについても説明を求めます。

議長

山崎補佐

町民福祉課長補佐

山崎 真直 君

え、委託料につきましては、まず子ども支援拠点事業につきましては、今別子ども園のほうに、子育てに関する相談に関する委託をしております。で、月 1 回程度事業を開催しまして、そういう子育て中の方に集まっていたいただきまして、色々な事業をしてい

ということになります。あと、平日は常に相談を受ける体制となっております。で、ひとり親家庭等医療費現物給付委託料につきましては、ひとり親の医療費を、これは国保に委託しているもので、国保に加入している方を対象に、この委託となっております。次の子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料につきましては、前回平成 27 年度から 31 年度、来年度までの計画となっております。32 年度からまた 5 年間新しい計画を策定するに当り、委託をするということです。続きまして、専門的訪問相談支援事業委託料につきましては、3 年ほどケアとして助産師会に委託をして助産師に来ていただいて、さまざまな支援、指導をしていただくことになっています。最後の子育て支援システム法改正対応改修委託料につきましては、法改正に伴うシステム改修になります。

次に扶助費の、ひとり親家庭等医療給付金につきましては、ひとり親家庭の子ども、そして親に対して医療費の給付を行うものです。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

え、委託の方はだいたい了解しました。扶助費の方のひとり親家庭等については、給付するっていうこと、免除じゃなくて。どの程度の給付なんですか。

議長

山崎課長補佐

町民福祉課長補佐

山崎 真直 君

え、保険に該当する部分につきましては、子どもについては全額、いったん領収書をいただいて、その分を、

(それは現物支給、という指摘)

え、現物支給等、直接領収書をいただいて返すのもあるんですけども、子どもについては、全額お返しします。親については、一部負担を除いて、そのまま親にも返却することになります。

議長

7 番議員

7 番	福士 和比古 君 ま、子どもの分については分かりました。親のところ、なんだからいぶん難しいみたいで、もう少し国保で認められる部分はいいとして、それ以外の部分を補助するという事はないんですか。
議長	はい副参事 立ってください。
町民福祉課副参事	綿谷 有子 君 申し訳ありません、親の部分なんですけれども、国保なり社会保険なりの方では、保険者が全部支払うとして、自己負担はありません。自己負担の、国保であれば3割ですね、その分につきましては、親に関しましてはいったん窓口で給付しますが、後日領収書を持ってきていただいて、償還払いとなっております。以上です。
議長	7 番議員
7 番	福士 和比古 君 要するに、結論としていけば、子育ての、親と子の医療費については全額給付ということでもいいんですか。
議長	副参事
町民福祉課副参事	綿谷 有子 君 はい、全額、自己負担はなしということになります。
7 番	福士 和比古 君 はい、そこ聞きたくて質問しました。はい分かりました、以上です。
議長	ほかにありませんか。 6 番議員
6 番	福士 直治 君 え、もうだいぶ時間になってきたので、93P です。商工費の中

の観光費で、印刷製本費で 1,782 千円計上になっております。私、知内町に行ったときに、知内町のパンフレットが素晴らしくてですね、これすごくお金かかっているんでしょう、って言ったら、この、自分の町を PR するための事業があつて、その補助金でパンフレット等作れるはずだよ、ということ言われて、私、これは裏付けも何もないんですけども、聞いただけだということなんですけれども、補助金あるんですか。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、ちょっと補助金の話になりましたので、私が失礼しますが、観光費 1,782 千円の財源は、元気事業補助金を予定しておりました。

議長

6 番議員

6 番

福士 直治 君

え、あの元気事業補助金ということだったのでんですけども、すいません、これ見れば、一般財源のほうに金額が書かれていますので、詳細分からなくて、ええ。

議長

企画課長

企画財政課長

岩渕 健 君

え、確かに、財源直近は一般財源ということになってましたが、2月に県のヒアリングがありまして、その時も、今のところのパンフレットに関しては、リバウンドの対応をするということで、県の方に補助金を申請しております。

6 番

福士 直治 君

分かりました。次は 94P です。公園管理費の人夫賃が前年に比べて 300 万ほど減額になって、1,167 千円になってます。え、草刈の委託する、という産業課さんからの説明が先日あったんですけども、その予算はどこに計上されてるんですか、私探せなくてですね、何ページですか。

議長

中嶋副参事

産業観光課副参事

中嶋 正文 君

今、あの、94Pの公園管理人夫賃1.167千円、これにつきましては、草刈等人夫の方ではなくて、今年計上させていただいたのは、公園管理、トイレの清掃とかですね、組合ハウスの清掃、とかのこの管理人夫賃1人分を1,167千円としてみてます。その下の次のページの95Pのところ、委託料として、公園観光施設及び町道草刈業務委託料4,644千円がありますけれども、先ほどの議員のお話があったんですけど、これについて昨年までの分として委託料で計上させていただいています。

6番

福士 直治 君

はい分かりました。98Pです。13節の委託料の中で、宿日直業務委託料が実績で100万円増になったということなんですけれども、その理由というか、これ残業代なんですか。

議長

平山補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

え、海峡の家のほうには、昨年と今年、だいたい1,800人ほど宿泊の方がいらっしゃいます。海峡の家そのものの管理の方につきましては、(聞き取り不能)現場の方が、宿直なり日直なりやっただいていてくれるんですけども、ちょっと長年来、なかなかその泊りの単価、日直の経費について、ずっと上げて欲しいという希望があったんですけども、なかなか上げることができなくて、日直と宿泊の経費について、若干上げさせていただきまして、去年の実績を加味しまして、今年も宿日直業務委託要2,698千円として若干上げさせていただきました。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

え、今年度も、500くらいでしたっけ、先ほど収入を見込んでいるところだったんですけども、その中の約、金額的に半

	<p>分が宿直量に、宿直業務の委託料に行くというところですけど、え、もっとう、時間を減らしたり、人数の節約をしたりしていかないと、なかなか、長期的な継続は難しくなっていくんじゃないですか。</p>
議長	山田課長
産業観光課長	<p>山田 基 君</p> <p>その辺につきましてはかなり、経費の圧縮につきましては、委託をお願いしている津軽海峡 GFP さんのほうにも話はします。ただ、現実的に、1 日当り、例えば今のところだと、1 日泊まって 5,000 円とか 5,200 円くらいの単価でやっていたいておりますので、圧縮して、余りの人数はかなり厳しいものがあるので、このへんの単価で何とか継続していただいて、それ以外の経費も少しずつ圧縮していきながら、利用客の増加に努めていただきたいということでお願いしたいところです。</p>
議長	6 番議員
6 番	<p>福士 直治 君</p> <p>え、宿直の人は拘束時間が長くて多分たいへんだと思うんです。なので、こう、ひとりで色々なこともしないとだめだと思うし、そこは継続して努めていってもらえればなと思います。</p> <p>104P です。先ほど 2 番議員も質問しましたけれども、タイヤショベル購入費、この 0.5 m³の方は色々な細かいところもでしょうがないと思うんですけど、この 11t 級の 2,530 万というところの利用が、新幹線の駅のところの駐車場の除雪と、その他の排雪というところだったと思うんですけど、新しく今舗装する駐車場の除雪とかも、今例えば二股地区の町道とかも除雪している経緯もありますし、私も業者さんにやってもらった方がいいと思いますけど、改めて、どうですか。</p>
議長	平山補佐
建設水道課長補佐	<p>平山 寛哉 君</p> <p>え、除雪に関して、今委託を実施しておりますけど、その中で、</p>

委託料、今年度の実績で申しますと、各業者委託している重機、除雪車両が5時間除雪した場合130万ほど経費がかかります。で、ここ2~3年で経費がかなりぐんと上がりました。例えば、排雪をしていた18年以前の単価と今現在の単価、除雪もどのくらい違うのかなというのでやりましたら、今現状、はっきりしたところはあれですけど、だいたいの単価がですね、1.4^mショベルで27,000円ほど1時間でかかります。平成20年でだいたい1時間/台13,000円、平成12年になりますとだいたい1万円で委託契約やってまいりました。この単価から見ていただいても、今後下がるということはちょっと考えにくいのかということを見ると、やはり除雪を委託することは確かに楽なんです、町の財政を考えると、今まで直営でやってきたものを、今後もできるだけ、施設は、町のは別ですけども、直営でやりながら、経費削減に繋げなければ、雪は降る、降らないも関わってきますが、そういったところで、財政的にも軽減していかなければならないという考えで、今の11t級、あえて7^m程度ですね、のショベルを計上しております。

議長

6番議員

6番

福士 直治 君

ま、費用対効果は大切だと思うんですけども、行政は住民サービスで、除雪の話になると、そういう、じゃあ時間当たりで、っていう、確かに経費はかかると思うんですけども、今職員の方も乗ってます、運転をしたりとか、そういうところもされてますし、臨時の職員の人たちも使っていて、維持費もあると思います、その部分だけで、今あの私、歳入からずっとお金が、財政が厳しい中で圧縮できる部分はないかいうところで、今のタイミングで2,530万というのも、3分の2が国からの補助で3分の1が町のお金で、という部分も分かるんですけども、元々、除雪、町でタイヤショベルとかを購入したときは、先ほど平山さんも言っていましたけれども、排雪のために購入したと、排雪をするのをやるものであって、今話になっているのは駐車場の除雪です。それではまた話も違ってくると思うんですけども、確かに費用対効果はたいへん必要だと思いますけども、実際業者さんもやっているわけですからね、そこは私は、つい

でって言ったらかかしいんですけども、同じ工区をやるという業者さんが工区を増やしてできるんじゃないかなと思いますので、そこは検討していただきたいと思うし、ぜひそうしてもらった方がいいと思います。町としては、お金を出さなければだめですけども、その地域でやっている会社、業者さんはちゃんと収入として得るわけですから、その方が私は言いと思います。以上です。

議長

平山補佐

建設

平山 寛哉 君

はい、議員のおっしゃることも一応検討しておりますけれども、駅、道路その辺含めると、緊急の対応も多々必要になってきます。それも踏まえて、今回こういう形で計上しております。ま、さまざまご意見とか考えもあると思いますので、考慮しながら検討して行きたいと思っています。

6 番

福士 直治 君

はい。

議長

ほかにありませんか。

議員一同

ありません。

議長

議案第 15 号の審議を打ち切ります。

お諮りします。議案第 15 号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。よって議案第 15 号は原案どおり可決されました。 【14:42】

議案第 16 号から第 21 号まで審議願います。

3 番議員。

3 番

小倉 潤二 君

え、私からの最後の質問、水道の方ですね、今現在、町川のほうから井戸を掘って水を供給しているわけなんですけれども、最近、水がおいしくないっていう声が聞こえてくるんですよ。で、その他にもですね、浴槽が何ていうんですか、白く濁るとか、洗面所にちょっと跡がつく、そういう苦情じゃないんですけれども、そういう話が良く聞こえてきています。で、その塩素管理とかは自動でやっているんでしょうか。

議長

相内課長

建設水道課長

相内 一 君

え、塩素の管理は自動でなっています。その部分に関しては、あの、ポンプ施設のほうにもすべて、繋がって、塩素で、施設の役場の方にも pH 関係は分かるようになってますので、それに対しては、基準どおりで、まず供給されているということです。で、井戸水ですね、ほとんど浄水場の方から上に行けば、そう変わらないというふうなデータも出てます。あとは、週に 2 回は点検、職員も 7 ヶ所、あと のところにオペレート保安局の検査の委託をしております。で、その部分につきましても異常は見つかっていませんし、あとは項目的にも定期的に検査していますので、水が悪いとかそういう検査結果は出ていません。

議長

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

あの、ここにいる人でもそうなんですけれども、今別の水は、前は大泊、町川、各場所から取っていたんですけれども、その頃から比べると、今の水がおいしくないって、ミネラル水を買って飲んでいる人もいるそうなんです。何が原因なのか、その辺まだあれなんですけれども。

議長

平山補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

え、前は3ヶ所、水源地であります票流水、川の水を汲んで急速ろ過、緩速ろ過、砂を通して水を引いていました。で、その時と今と比べて、水も、味と申しますかちょっと私も自分では感じたことはないんですけども、え、基準的なものでいくと、たいへん素晴らしい数値が出ていた、ただ、今の小倉議員の質問の前にもそういった問合せはありました。で、こちらも色々、関係機関とか協力いただいて、色々調べたんですけども、どこも悪くないと、逆に悪い、というのは例えばおいしくないとか何か感じる人と、機関が1回面談してみたいとか、そういった意味で要するに、まずまったく問題のない、ただ私の感じる限りであって、人それぞれ感じ方は違うと思いますので、もし今後、そういったことも頻繁に起きるようであれば、ご連絡いただければ直接行ってですね、こちらで調査、やはり原因を究明しなきゃいけないと思いますので、ご連絡いただければ対応したいと思います。

7 番議員

福士 和比古 君

今の質問で、私も1点、体験者。私、毎朝コーヒー飲んでますが、沸かして飲むんですが、すごい不味いです、水道水でやった場合。よその人は、同じコーヒー沸かして飲む人の話聞いたら、やっぱり売っている水をちゃんと買ってやれば、全然違うよって聞いて、それこそ3日前から買ってきた水でコーヒー沸かしています。味、全然違います。本当に飲み比べてみれば、まずいなって。根拠はまったくありません、私の舌がばかになっているのかも分からないし、コーヒーはまったく分かりません。ちゃんとデータからいけば、間違いなくいい水だとデータが出ているのであれば、そっちが正しいのかもしれませんが、私は最近そういうふうに感じています。

議長

総務課長

総務課長

嶋中 拓実 君

すいません、私も、水の飲み方というか、皆個々だと思うんですけど、議員の方々がちょっと味が悪いとか言うんですけども、やってみてください。1リットルのペットボトルに朝水を汲んで、次の朝飲むように、上には蚊とか入らないようにし

	て、それを冷やして飲めば全然違います、私の感覚では。
7 番	1 日置いて。
総務課長	置いて。これはお願いします。
議長	相内課長
建設水道課長	相内 一 君 今の件ですけれども、うちの方の平山補佐も言ってましたが、色々な機関に水の検査依頼をしました。まず 50 項目とか色々なのがあります、水道に関しての水の検査の方です。もうひとつは、おいしい水の基準に関して、こちらの方で委託をしての調査であれば、日本の水道の中では青森市、弘前市が名前が載ってます。それとほぼ同じ基準でクリアしました。ですので、検査結果ですけれども、であれば、今別の水はおいしい水、水道水のおいしい水だというふうに言われていましたし、福士(直治)議員のほうも何か内輪に大学の先生の方と行政の視察させて、その検査結果を見た時にも、ここはすばらしい水道水だというふうなことを、専門の教授だそうですので、私の方としても、その時点では、お墨付きをもらったんじゃないかなというふうに、私は感じました。
議長	平山補佐
建設水道課長補佐	平山 寛哉 君 すいません、補足ですけれども、今現在、地下水の水なんです、pH が若干、井戸水は高いので、硬度というか、硬い水、それによってですね、多分好き嫌いが出るという、一応ものもありますので、もしかすると、そういった部分かと思っております。ただ、水、飲料水については、特段問題はありませんので、よろしく申し上げます。
議長	7 番議員
7 番	福士 和比古 君

議長

分かりました、私の味覚がだいぶ落ちているんだなということで。で、水で聞きます。蛇口ひねって、白く出ている状態、ちょっとでも、それは塩素の関係なんですか。

平山補佐

建設水道課長補佐

平山 寛哉 君

それは多分気泡です。空気が細かくなって、結果的に白くなりますよね、カルピスのような感じで、すぐ置くと透明になる、多分気泡、細かい粒、泡というか、になっています。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

はい、分かりました、了解。

議長

相内課長

建設水道課長

相内 一 君

答弁になるかもしれませんが、まず、水道場の管理について、月 1 回各家庭でも泥はけをして、新鮮な水を缶に汲むということが第一だと思います。それから、塩素の注入濃度についても、人間それぞれの 感覚があるので、基準どおり入れてるから正しいというわけではないし、基準どおり入れてないからだめだということでもないの、その点については許容範囲内で判断してもらいたいと。で、先ほど言った地下水の硬度が高くなればなるほど、すべての人間が水の感覚として、おいしくない、で、喉、舌、内臓に刺激を感じるということになっておりますので、地下水を汲み上げて飲料水にする場合には、弱酸性になるように pH 調整をしながら供給しなければならないということにもなっておりますので、そういうことを充分加味してやってもらいたいと。で、白い気泡については、缶の中の水圧の増減によって発生するものですから、残留塩素等には一切関係ありませんので、よろしくお願ひします。

議長

ほかにありませんか。

3 番議員

3 番

小倉 潤二 君

え、すみません、今まで大泊の水道水使っていた部分で、今は町川の井戸からポンプで上げているんですよね。浴槽が何ていうんですか、白くなるとか、汚れが、流している水が残った場合、白くなるんだそうですよ、浴槽が。洗面所も手洗い場もみなそうなんですけれども、原因って何なんでしょうね。

議長

町長

町長

中嶋 久彰 君

同じような経験は、私、家を建ててから何度かありまして、業者さんと呼んで聞いたことがあります。それは、皮脂油だそうです。ですから、普通の洗剤じゃ取れないそうです。洗ってもなかなか、一所懸命こすらないと取れなくなるそうです。ですから、白く残るんだそうです。それが、土台の色が黒ければ黒いほど目立つことになります、そういうものだそうです。私の家の経験からいけばそういうことです。

3 番

小倉 潤二 君

分かりました。

議長

7 番議員

7 番

福士 和比古 君

総務課長、さっきの話もう 1 回教えてください、お願いします。

総務課長

嶋中 拓実 君

私もたまにやるんですけど、みなさんおいしくないおいしくないって町の水を言うんですけど、例えば、今日の晩、1 リットルに水を 9 割方入れておいて、明日になると、売ってる水と分からないくらい、私はどっちかなという感じがします、分からなくなります。一度やってみてください。

議長	ほかにありませんか。
	2 番議員
2 番議員	田中 哲也 君 え、184P です。医療費の、備品購入費に関してです。車椅子購入費や、歩行器の購入費があるんですけど、今現在、車椅子何台くらいありますか。
議長	診療所事務長
診療所事務長	綿谷 広巳 君 1 台です、今現在歩行器については、ありません。
議長	2 番議員
2 番	田中 哲也 君 分かりました。あの、高齢者も多くなってきて、診療所に行く人たちも多々いると思うんですけど、車椅子、現在 1 台だと少ないと思いますし、ましてや歩行器がないとなれば。歩行器があったほうが楽なのかなと、今現在、他の大きな病院に行くと、僕も障がい者なので分かるんですけど、玄関で靴を脱いで入っていくところまで考えていかないと、なかなか、足に、下半身に障がいがある人が玄関で靴脱いでスリッパに履き替えて行くっていうところまで、そこが困難なところなので、その辺まで、これから考えていかなければならないと思います。ただ病院行って、玄関入って靴脱いで行くというのが、僕もかなり重労働になってきたりしますので、その辺も考慮しながら、この備品購入等も考えて行って欲しいなと思いますけど、どうですか。
議長	事務長
診療所事務長	綿谷 広巳 君 今後、診療所を運営していく上で、今議員がおっしゃったことも検討課題として、今度検討して行きたいと思います。

議長	2 番議員
2 番	田中 哲也 君 はい、よろしくお願いします。
議長	ほかにありませんか。
議員一同	ありません。
議長	議案第 16 号から第 21 号までの質疑を打ち切ります。 お諮りします。議案第 16 号を原案どおり可決することにご 異議ありませんか。
議員一同	異議なし
議長	異議なしと認めます。よって議案第 16 号は原案どおり可決 されました。 【15:00】
議長	お諮りします。議案第 17 号を原案どおり可決することにご 異議ありませんか。
議員一同	なし
議長	異議なしと認めます。よって議案第 17 号は原案どおり可決 されました。 【15:00】
	お諮りします。議案第 18 号を原案どおり可決することにご 異議ありませんか。
議員一同	なし
議長	異議なしと認めます。よって議案第 18 号は原案どおり可決 されました。 【15:00】
	お諮りします。議案第 19 号を原案どおり可決することにご 異議ありませんか。

議員一同
議長

なし
異議なしと認めます。よって議案第 19 号は原案どおり可決
されました。 【15:00】

お諮りします。議案第 20 号を原案どおり可決することにご
異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。よって議案第 20 号は原案どおり可決
されました。 【15:00】

お諮りします。議案第 21 号を原案どおり可決することにご
異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。よって議案第 21 号は原案どおり可決
されました。 【15:00】

次に陳情の審査付託の件を議題といたします。受理番号 2
号、3 号、4 号については、総務文教常任委員長の報告を求め
ます。

総務文教常任委員長

小倉 潤二 君

総務文教常任委員会から、本定例会において付託された
陳情の審査結果について報告いたします。3 月 11 日、委員
会を開催し審査したところ、陳情受理番号 2 号「全国知事会
の米軍基地負担にかんする提言の主旨に基づいて、地方自治
の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書
を提出することを求める陳情書」の取扱いについては、資料
配布とし、陳情受理番号 3 号「若い人も高齢者も安心できる
年金を求める意見書採択の陳情」については、採択といたし
ました。そして、陳情受理番号 4 号「最低賃金の改善と中小
企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書」に関

議長

しましては、資料配布と決定しましたので、報告いたします。
陳情受理番号 2 号は、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。陳情受理番号 2 号は、委員長報告のとおり決定いたしました。

陳情受理番号 3 号は、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。陳情受理番号 3 号は、委員長報告のとおり決定いたしました。

陳情受理番号 4 号は、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

議員一同

異議なし

議長

異議なしと認めます。陳情受理番号 4 号は、委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、陳情受理番号 5 号について、産業建設常任委員長の報告絵を求めます。

産業建設常任委員長

田中 哲也 君

産業建設常任委員会から、本定例会において付託された陳情の審査結果について報告いたします。3 月 11 日、委員会を開催し審査したところ、陳情受理番号 5 号「奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書」は採択と決定いたしましたので報告いたします。

議長 陳情受理番号 5 号は、委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。

議員一同 異議なし

議長 異議なしと認めます。陳情受理番号 5 号は、委員長報告のとおり決定いたしました。 【15: 】

これをもって、本議会に付された案件はすべて議了したので、第 449 回定例会を、閉会いたします。 【15: 】

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

今別町議会議長

署名議員 番

署名議員 番